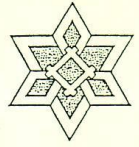


ふくい

舞鶴市立福井小学校
令和5年11月30日発行
(本年度9号)



人権旬間

いいところの輪を広げよう

生き生きがんばる、福井っ子

すっかり秋の深まりを感じる季節となり、空気は冷たさを増しています。インフルエンザ罹患者も落ち着いてきましたが、これからインフルエンザが流行する時季。引き続き感染防止を心掛けたいです。

今年の「校内マラソン大会」は良い天気恵まれ、業間マラソンや体育の時間に練習した成果を生かし、低学年は2.3km、高学年は3.0kmに挑戦しました。上り下りがあるタフなコースで、途中で歩く子もいましたが、最後まで諦めずにゴールを目指し、ほとんどの子が完走しました。1年生ははじめてのマラソン大会でしたが、大きく息を弾ませながら力走し、低学年の部で大活躍しました。高学年の部では、駅伝チームの活躍が光りました。毎日厳しい練習を積み上げてきた成果が発揮され、上位を独占しましたが、その一角に食い込む走りを見せた子も輝いていました。大会実施に向けて、試走の前から地域のシルバーボランティアの方々にコースの草刈りをお世話になりました。また、当日には沿道ではPTA本部や専門部員の方々、防推、民生、見守りの皆様に走路員をお世話になり、子ども達に声援を送っていただきました。走る事が得意な子もいれば苦手な子もいますし、練習してもすぐに走力が伸びるわけではありません。たとえ走る事が得意な子でも、長距離走は非常にシンドイ運動です。しかし、苦しさに負けそうになる自分の気持ちを奮い立たせてゴールを目指した経験は、きっと自分自身を鍛え、心と身体の成長につながっています。

「音楽集会」では、久しぶりに入場制限をせずに開催ができ、多くの皆様にご参観いただきました。低学年は、鍵盤ハーモニカの音がきれいに重なる素敵な発表でした。中学年も楽しくアイデアを生かした演出で、合唱とりコーダーを披露しました。高学年は、迫力のある合奏や替え歌、美しいハーモニーをしっかりと響かせ素晴らしい発表でした。最後は150周年記念式典でも歌った「ふるさと（嵐の楽曲）」を全校合唱しました。練習の足跡がよく分かる素晴らしい「音楽集会」でした。

「ふふふフェスタ」では、6年生を中心に、きずな班で協力して様々なコーナーを作りました。ボーリングや空き缶並べ、豆つかみなど6つのコーナーができ、当番を交代しながら、上級生と下級生のペアで楽しく遊ぶ姿が見られました。今年のPTA本部は子育て支援協議会や福井文化協会の方々もご協力いただき「パラバルーン」コーナーをお世話になりました。カラフルで大きな布が広がったり膨らんだり…最後は大きく膨らんでみんなを包み込みます。また子ども達も布を操作して楽しみました。みんなで知恵を出し合い手作りの遊びができた楽しい行事でした。



11月下旬から12月上旬まで「人権旬間」の取組を進めています。今年のテーマは「いいところの輪を広げよう」です。人にはそれぞれいいところがたくさんあります。ところが学校生活では子ども同士のトラブルは付き物。それはあって当たり前ですが、課題を解決しながら意見の食い違いを正し、お互いが「持ちつ持たれつ」でそれぞれを認め補い合ってより良い生活を目指しています。福井っ子を一つのチーム（ONE TEAM）として、よりよい人間関係を築く力が育つよう取組を進めていきます。

2学期も残すところ16日。各学年では学期末に向けてまとめや2学期の反省など学習も慌ただしくなります。保護者・地域の皆様には引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同

